

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

中野小	学校	児童数	69
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.76	18.18	32.62	42.21	52.94	9.78	152.48	23.62	54.53
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	17.43	18.43	37.91	37.91	44.77	9.49	139.14	13.29	56.34
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

「運動やスポーツをすることが好き」と答えた児童は、男子は74.3%で全国平均を2ポイント・大阪市平均を1ポイント上回ったが、女子は57.1%で全国平均より約3ポイント上回った。体力合計点は、全国平均より男女とも2ポイント上回り大阪市平均より男女とも約4ポイント上回った。男子は、反復横跳びと20mシャトルランと立ち幅跳び、ソフトボール投げが全国平均を上回り、女子は、長座体前屈と立ち幅跳びが全国平均を下回った。1週間に運動を60分未満しかしない児童は、男女とも約12%であった。女子は全国・大阪市平均より少ないが、男子は、全国平均より約3ポイント、大阪市平均より約1ポイント多かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

児童が意欲的に学習に取り組めるように、昨年に引き続き、体力向上の取り組みを進めた。体力向上週間や大縄週間、ランニングウィークスを設けた。運動場に3重のトラックをかいいて学年別に安全に毎日走れるように工夫した。また、それぞれの取り組みの時には、頑張りカードを使用して低中学年は、進んで取り組む姿が見られた。ランニングフェスティバルでは、学年に応じての距離を設定して、大川沿いの公園を使用して長距離走に取り組んだ。

また、体育の時間の始めにラダーや中野っ子体操を取り入れ、運動量を増やすようにした。運動場のバスケットコートでは、休み時間だけでなく放課後も多くの児童が自由に運動に親しんでいる。授業の中でタブレットを端末等を活用して自分の動きを確認する機会や小グループや全体での話し合いを生かして友だち同士学び合えるような場を今まで以上に増やした。その結果、ボールを使ったゲームやフラッグ鬼ごっこなど運動が苦手だと感じている児童も友だちの励ましによって積極的に動けるようになった。また、中野っ子体操を年間通して全学級継続して行い、サーキットトレーニングなども継続して、今後もどの子も運動に興味を持ち、日常的に体力向上に取り組もうとする児童を育てていく。小体連のバスケットボール、サッカー、ソフトボールに加盟し運動に親しむ機会をもち、参加する児童も増えてきている。

体育科では、グループでの学習を多くし、集散やコートの移動などをスムーズにできるよう視覚化するなどして運動している時間を25分以上にするように授業改善を進めていく。

